

# とよしん景況調査

## 《調査要領》

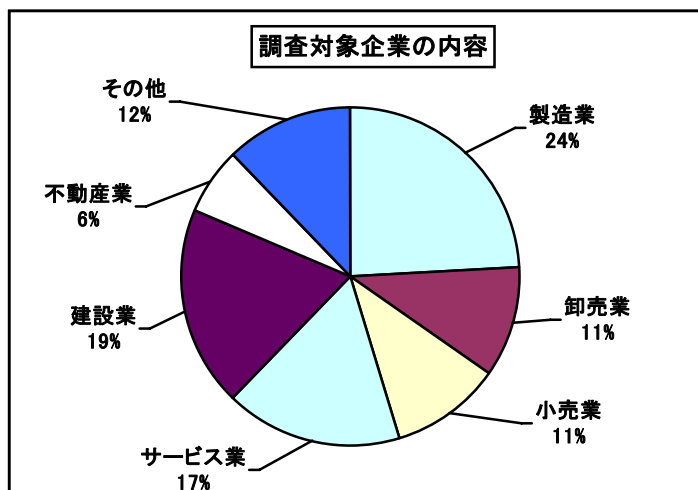
調査対象時期 平成19年 1月～ 3月 実績  
平成19年 4月～ 6月 見通し

調査方法 聞き取りアンケート調査

調査対象企業 当金庫取引先 578社

### 分析方法

各質問項目で「増加(上昇)」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少(下降)」したとする企業の構成比との差(DI・判断指数)を中心に分析。



### DIの推移

#### <業況>

(数値はDI数値)

業種	平成18年				平成19年		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月見込	
総合	5.2	5.2	2.6	12.1	10.6	7.1	↓
製造業	11.6	25.4	12.1	24.6	15.1	18.0	↑
卸売業	11.7	▲6.4	8.5	17.2	11.5	14.8	↑
小売業	▲4.6	▲8.5	▲8.2	0.0	0.0	1.6	↑
サービス業	9.5	3.0	5.1	15.5	14.3	1.0	↓
建設業	0.9	▲2.0	▲5.6	7.4	13.6	0.0	↓

#### <売上>

(数値はDI数値)

業種	平成18年				平成19年		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月見込	
総合	12.2	10.3	5.9	19.7	13.0	8.5	↓
製造業	21.2	28.3	14.1	28.9	13.7	18.7	↑
卸売業	23.3	▲2.1	3.4	17.2	16.4	11.5	↓
小売業	3.1	3.4	0.0	10.0	3.3	0.0	↓
サービス業	9.5	6.1	9.2	21.6	14.3	7.1	↓
建設業	8.9	5.0	0.9	25.9	19.1	1.8	↓

#### <収益>

(数値はDI数値)

業種	平成18年				平成19年		
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月見込	
総合	5.9	5.1	▲2.1	11.3	8.0	4.9	↓
製造業	9.6	19.6	2.7	19.0	12.9	10.8	↓
卸売業	18.3	▲2.1	▲1.7	19.0	8.2	11.5	↑
小売業	▲4.6	0.0	▲6.6	6.7	1.6	1.6	—
サービス業	6.7	2.0	2.0	10.3	8.2	5.1	↓
建設業	1.8	▲2.0	▲12.1	2.8	6.4	▲4.5	↓

# 総 合

当期（1月～3月）は、年末需要の反落から、前期比で業況DIは▲1.5ポイント、売上DIが▲6.7ポイント、収益DIが▲3.3ポイントと全てにおいて低下を示した。前年同月比では、業況（+5.4ポイント）、売上（+0.8ポイント）、収益（+2.1ポイント）の全てのDIがプラスとなっている。また、来期見込（4月～6月）については、例年同様DIが低下する時期であり、全体として一服感が続いているものの、緩やかな景気回復基調にある。

各業種に目を向けると、製造業では、自動車関連で国内の新車需要が伸び悩むなか、北米を中心とした海外需要に支えられ好調を維持している。卸売業では、機械器具関連が、自動車関連を中心に、売上は比較的安定して推移している。一方、繊維関連は、暖冬の影響もあり、冬物衣料の売上は前年比で減少となった。小売業では、原油高を背景に軽自動車販売が好調を維持している一方で、食料品販売は暖冬により鍋物用野菜が全般的に不振となった。サービス業においても、暖冬により鍋物料理などの需要が落込み、飲食店への客足が鈍ったことから例年に比べ低迷した。建設業では、民間工事関連においては原材料費の値上りにより採算の確保が課題となっているものの、全般的に受注量が増加している。住宅関連では、個人住宅の新築、リフォーム工事で活発な動きがみられる。

